令和5年	令和5年度 施策・基本事業マネジメントシート (令和4年度実績に基づく評価)								作成日 令和 6年 3月 5日			
政策体系	基本目標名 03 健やかで元気に暮らせるまちづくり 政 策 名 03 助け合い生きがいを実感できるまちづくり							いきいき高齢課				
施策関係課	施 策 名 01 豊かで健やかな長寿社会の実現 介護保険課、健康増進課、スポーツ推進課、生涯学習課、0	療保険課、交通政策課							向田 綾·	子		
1. 施策(の目的と成果把握											
施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか ①高齢者(65歳以上) ②高齢者を支える人(市民)	対象指標 ① 65歳以上の高齢者数 ② 佐野市の人口 ③ (4)		単位 R4 人 36, 22 人 115, 7		R6 R7	成果指標	①高齢者が、要介護にならず、自立して健やかに暮らせているかを判断する成果指標として採用した。 ②高齢者の社会参加の実態を測定するための成果指標として採用した。 ③地域で高齢者を支える活動の状況が把握できることから、成果指標として採用した。 市政に関するアンケート調査 市政に関するアンケート調査 いきいき高齢課地域支援事業係資料				
施策の目的 「意 図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか ①高齢者が、住み慣れた地域で、生きがいをもち、健やか に暮らし続けることができるようにする。 ②地域で高齢者を支える人を増やし、見守りなどの高齢者 を支援する活動を推進する。	成果指標(意図の達成度を表す指 生きがいを持って生活している高 合 2 社会参加をしている高齢者の割合 地域での生活支援サービスの体制 取り組む町会等	齢者の割 目標 実績 目標 実績	単位 R4 % 71.3 73.9 47.8 42.6 箇所 23 17	52. 4	R6 R7 80. 4 84. 9 56. 9 61. 5 36 42 	設定の考え方					
2 基本3			7347			•						
基本事業名 社会参加の支 援と生きがい づくりの促進	対象 意図 成果指標	目標 人 39,500 49,000 58 実績 40,845 - 目標 人 84,200 106,300 128 56,908 - - 目標 6所 23 30				意図 高 ①誰もが自立し 生活を送れるよ 支援する。		月人数 実績	J 34, 800 35	R5 R6 R7 , 200 35, 600 36, 000 — — — — , 500 22, 500 23, 500 — — —		
	①65歳以上の高 ①要介護状態にな ②介護事業所 ②必要な時に適切 な介護保険サービスが受けられるようにする。 ②必要な時に適切 な介護保険サービスが受けられるようにする。 ②必要な時に適切 な介護職員処遇改善 ②必要な時に適切 な介護職員処遇改善 ②の延人数 ②の延人数 ②の延人数 ②の延人数 ②の延入数 ②の延入数 ②の延入数 ③の延入数 ③の延入数 ③の延入数 ③の延入数 ③の延入数 ③の延入数 ④の延入数 ⑥回延入数 ⑥回延入 ⑥回亚 ⑥回亚	実績 % 18 - 目標 人 250 280 3 実績 人 154 - 目標 % 100 100 1	}	後期高齢者医 療制度の安定 した運営		医 ①後期高齢者図 制度が安定して 営され、必要な に医療が受けら る。	「運		% 18.2 1 18.3	8. 5 18. 7 19		
3. 施策	及び基本事業の目標達成度評価											
会和4年度施策の取組方針・成果指標達成状況 ・「シニア地域デビュー条例」の制定や地域で高齢者を支える団体等を支援することで、高齢者の社会参加を支援し生きがいづくりを促進する。また、ふれあいサロンや高齢者生きがい活動の参加人数の増加を図る。 ・高齢者在宅福祉サービス事業の見直し結果を検証し、今後の方向性を検討する。 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に取り組むとともに、介護予防教室の参加人数の増加を図る。 また、包括支援センターの人員確保を支援する。 ・介護サービスの安定的な提供体制を維持するとともに、介護人材の定着のため、介護事業所実地指導の際に介護職負処遇改善加算の取得については事業、支援を行う。 また、介護に関する入門的研修会を開催し、介護職への参入促進を図る。 ・後期高齢者の健康診査の受診率向上を図るため、積極的な啓発を行う。 ・後期高齢者の健康診査の受診率向上を図るため、積極的な啓発を行う。 基本事業名 ・ 令和4年度基本事業の取組方針・成果指標達成状況 ・ 地域の出場が出まれます。 ・ のかりを促進する。 また、シニアクラブ連合会やふれあいサロンなど、高齢者の生きがいつくり等を実施する団体の支援を行い、新規団体の設立や体会団体の限力や体会団体の限力にでは、検討には至らなかった。 ・ 適いの場等へ積極的に関与し、分別をおして健康教育とフレイル状況の把握を行った。 ・ 個別支援については生活習慣病重症化予防を主として、対象者に対して保健指導や受診勧奨を行った。 ・ ・ 後期高齢者の健康診査の受診率向上を図るため、積極的な啓発を行う。 ・ 後期高齢者の健康診査の受診率向上を図るため、積極的な啓発を行う。 ・ 後期高齢者の健康診査の受診率向上を図るため、積極的な啓発を行う。 ・ 後期高齢者の健康診査の受診率向上を図るため、積極的な啓発を行う。 ・ 後期高齢者の健康診査の受診率向上を図るため、積極的な啓発を行う。 ・ 後期高齢者の健康診査の対象とでは、必要職負数を満に対し指導、支援を行ったが、制度の理解不足や手続きの頻雑さにより未取得の事業者があった。 ・ ・ チ持シ全戸配布等、多種多様な手法により健康診査受診勧奨を行った。 「成果指標達成状況」成果指標の①「生きがいを持って生活している高齢者割合」は達成したが②「社会参加を支援・の利益・成果指標達成状況」の、実施課のでの生活支援・での生活支援サービスの体制で(りに取り組む可会を参加を支援・での生活支援サービスの体制で(りに取り組む可会を参加を支援・での表し、対象に対していては、検討・では、表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表												
社会参加0	でするとでの大きないようにである。 での人性の中で培って発揮できるよう社会参加を支援する仕組みを検討する。 ・ゴールデンエイジ構想の実現に向け、地域で高齢者をを支援し、他の団体の発掘にも努める。 での角機形態とならないよう、地域の地域での発掘にも努める。 での介護予防を支援し、のが護予防を支援し、多様化する高ようえ援をならないよう様化する高齢者の利護を支援し、多様化する高よう、選挙を取得する。 での介護予防を支援し、多様化する高齢者の利護である。 での介護予防を支援し、多様化する高よう、短援予防を支援し、多様化する高よう、選挙を取得する。 での介護での介護である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□全て達成 ■一部未達成 □ 和未達成 □ 和組方針達成状況】 デビュー条例を制定し、R5.7.1に施行す加支援の仕組みの検討には至らなかったが休止となっている町会等を訪問し、東京状況】 ロンの年間参加人数 500人に対し、実績 40,845人で達成。 ンター年間利用人数 200人に対し、実績 56,908人で未達成。 ンター年間利用人数 200人に対し、実績 56,908人で未達成。 国全て達成 □ 一部未達成 □ 1 全て達成 □ 一部未達成 □ 2 全て達成 □ 一部未達成 □ 1 全て達成 □ 1 全てき渡る □ 1 全てき渡る □ 1 全てき渡る □ 1 全てき渡る □ 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1	コ全 全	基本事業名自立支援サーの推進	ビス・の在たり計・て・の在たり計・て・の在たり計・て・な査防・小世宅生良す身暮・財滞の事高・が森の事高・がなりません。	らしの高齢者や高)方々に対し、各種 Lサービスを提供し 、送れるよう支援を を援のため制度の見	取組実体 (1)成チラの (1) の (1)	計 業世直見標祉 33えサ 計 業齢、フ慣事標齢 全 全組自検利状シのよ、タのほのの時成のりに成り 34年たりである個し病業達者 下でて方立討用況一人り回一人 でて方保保状化合況健 、	成 ■ 一部未達 成 □ 一部未達 正成状況】 そのため、かっ設置し、会 はいたななを設置し、会 はいたななを設置し、会 はいたななを設置し、会 はいたななを設置し、会 はいたななを表する。 はいたのでは、本では、本では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	或 □全て未達成 □全て未達成 □全て未達成 □全て未達成 支援サービスを提供し 議を開催した。 年間) 年で成券をによる。 達成。 □ 全て未達成 □ 中で成券をことによる。 さはからないの対場等にはよる。 はいの対場等による。 はいの対場等の はいのが場がある。 はいのがはません。 はいのがはません。 はいのがはません。 はいのがはません。 はいのがはません。 はいのがはません。 はいのがはません。 はいのがはません。 はいのがません。 はいのがません。 はいのがません。 は関への働きかけなど		
	ることにより、介護職への参入を促 未達成。 進する。 事業者の制度	への理解不足、煩雑な手続きが原因と見	思われる。									
4. 施策(の基本情報 対会情熱変化、国・県の動向、市民・議会	· 音目生				佐年のご	里向トに向けての作	割公坦				
施 ケアシスラ 策 ・議会の- の 。 基 ・議会にあ	議会の一般質問で、将来の介護保険料について質問があるなど、将来における保険料の上昇が危惧される ・ 後 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			市民 ・健康は自分で守るという意識のもと、健康、 介護予防、生きがいづくりへ積極的に取り組む ・健診の適正な受診 ・シニア地域デビュー条例への理解と関心を深 め、それぞれの実情に応じて地域活動への参加 者の見			せ代が意欲に応じて就業できる機会		協力			
5. 施策:	全体の総括・今後の課題・今後の方向性											

- 施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括 ・シニア地域デビュー条例が制定されたが、制定に至るまでに多様な意見や見解が見られた。
- ・シニアクラブ連合会やふれあいサロンなど、高齢者の生きがいづくり等を実施する団体の支援を行い、新規団 体の設立や休会団体の再開を呼びかけたが、新たな担い手(若年層)が新規加入しないため減少傾向にある。
- ・在宅福祉サービスの見直しは検討に至らなかったが、バス、タクシーの利用は増加しているため、より一層の
- 利便性向上等に向けて検討を行う必要がある。
- 通いの場等へ積極的に関与し、対象者に対して健康教育とフレイル状況の把握を行った。
- ・個別支援については生活習慣病重症化予防を主として、対象者に対して保健指導や受診勧奨を行った。 ・介護予防教室については、感染症対策のため一時中止したことが、参加者の減少及び介護支援ボランティア
- 人数の目標未達成の要因となった。
- ・実地指導の際に介護職員処遇改善加算の未取得の事業者に対し指導、支援を行ったが、制度の理解不足や 手続きの煩雑さにより未取得の事業者があった。
- ・介護未経験者を対象とした基本的知識を習得する研修を実施し関係機関と連携して就労支援を行った。
- ・収納率向上のため、滞納整理等を強化して行い、一定の効果が見られた。 ・チラシ全戸配布等、多種多様な手法により健康診査受診勧奨を行い、一定の効果が見られた。
- ・生活習慣病重症化予防事業については、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業に統合し実施した。
- 【施策コスト】 令和3年度決算額約161億円に対し、令和4年度決算額は約162億円で、約1億円の増。
- 主な要因は、後期高齢者医療被保険者の増加による、後期高齢者医療広域連合納付金及び後期高齢者医療費負担 金の増によるもの。また、令和4年度はコロナ禍における介護施設等原油価格・物価高騰対策支援事業費につい て、36,652千円の歳出があった。

- 【令和5年度で解決する課題】
- ・介護職員処遇改善加算の未取得事業者への取得促進
- 【令和6年度以降にも引き継がれる課題】
- ①シニアクラブやふれあいサロン等の担い手減少の抑制。
- ②高齢者の自立した外出の促進。
- ③介護予防事業への参加促進。
- ④保険料の安定的な収入確保
- ⑤今後増加する介護費用の適正化
- ⑥介護人材の確保
- ⑦後期高齢者医療制度の円滑な運営、健康づくりと疾病予防の実施 【令和6年重点課題】
- ⑧シニア地域デビュー条例に基づくシニア世代の社会参加の促進

今後の方向性 ①シニア世代の社会参加意欲を促進するため、既存事業の見直しを検

②高齢者のバス、タクシーの利便性の向上を図るため、関係部署と連 携しながら、運賃助成の対象年齢引き下げ、利用用途拡大、助成率の

引き上げについて検討する。 ③コロナ禍により減少した、介護予防教室、通いの場の利用促進につ

いて、アフターコロナを見据えた改善策を講じ実施する。 ④保険料の効率的・効果的な滞納整理及び、収納率の向上を図る。

- ⑤介護給付費適正化事業を継続して着実に実施する。
- ⑥介護職員の処遇改善及び、介護職への参入を促進する。
- ⑦高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業を推進し、健康診
- 査受診率の向上を図る。 ⑧シニア世代の社会参加を円滑にするため、対象者に有益となる情報

の収集を行い、確実に対象者が受信できるよう、有効な情報発信の仕 組みを構築し、全庁を挙げて発信する。